

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年1月 東北分
 (東北6県)」について

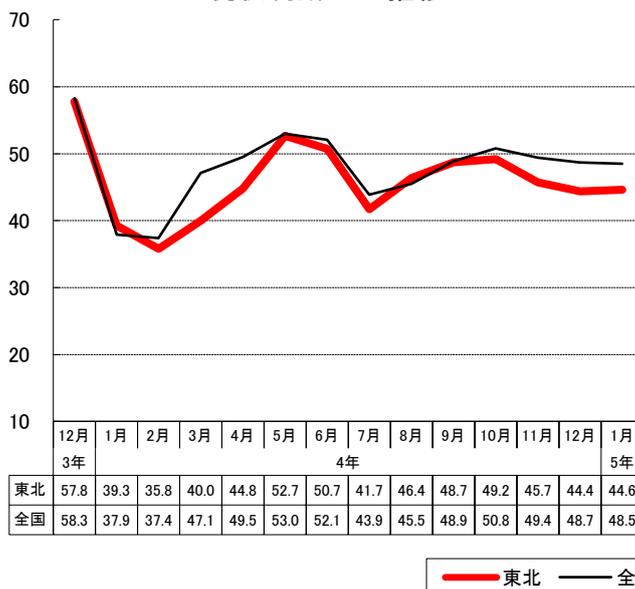
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年1月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「44.6」と3か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.2ポイント上昇した。

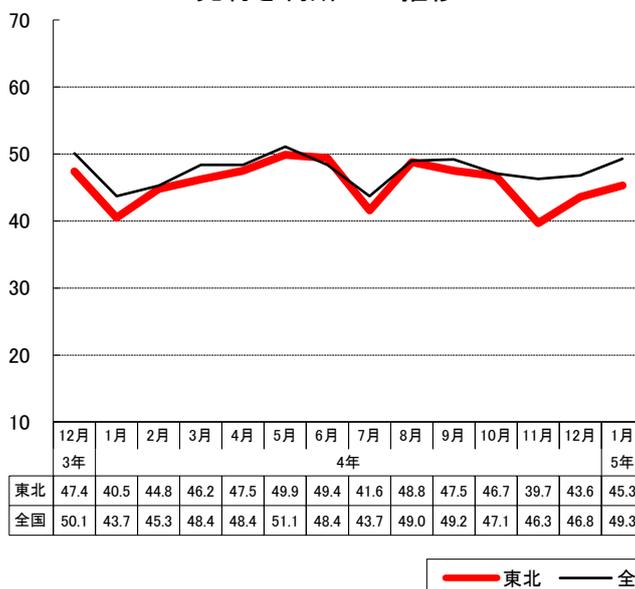
現状判断DIの推移



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「45.3」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.7ポイント上昇した。

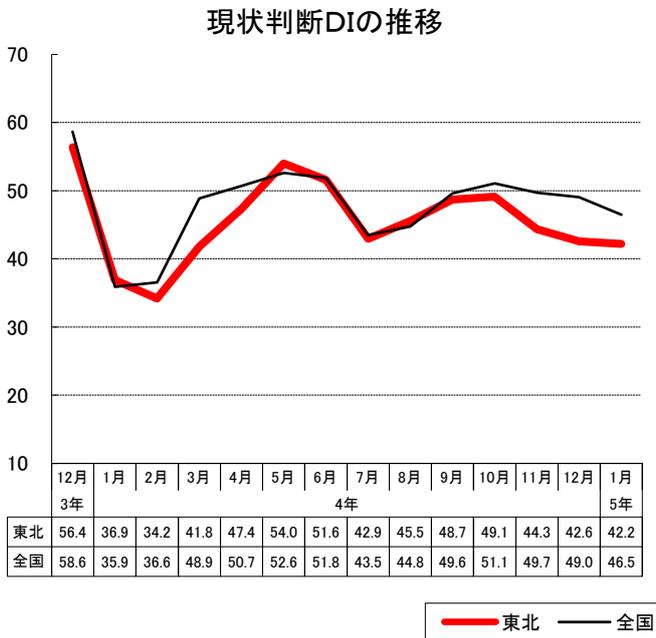
先行き判断DIの推移



2. 原数値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「42.2」と3か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.4ポイント低下した。



○家計動向関連…衣料品専門店、百貨店、家電量販店等の業種でDIが前月を上回ったが、一般小売店、スーパー、乗用車・自動車備品販売店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「39.9」（▲2.6）と、3か月連続で前月を下回った。

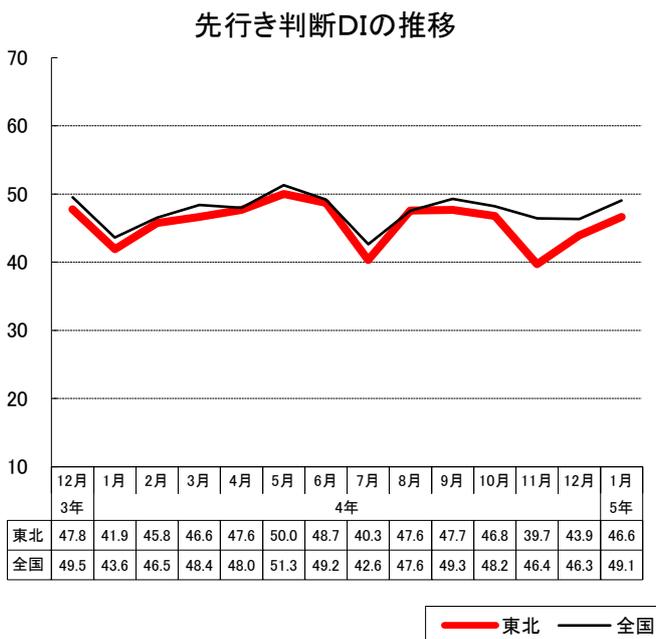
○企業動向関連…輸送業、金属製品製造業、土石製品製造販売の業種でDIが前月を下回ったが、一般機械器具製造業、建設業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「47.3」（+6.1）と、4か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「46.1」（±0.0）と、前月から横ばいとなった。

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「46.6」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+2.7ポイント上昇した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、高級レストラン、百貨店等の業種でDIが前月を下回ったが、一般レストラン、一般小売店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「45.2」（+3.4）と、2か月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…電気機械器具製造業、金属製品製造業、農林水産業の業種でDIが前月を下回ったが、食料品製造業、その他非製造業[飲食料品卸売業]、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「52.0」（+4.0）と、2か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「44.7」（▲4.0）と、2か月ぶりで前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	3年		4年										5年	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北現状	56.4	36.9	34.2	41.8	47.4	54.0	51.6	42.9	45.5	48.7	49.1	44.3	42.6	42.2
家計動向関連	55.4	33.6	31.0	42.5	46.8	54.6	51.1	41.3	42.8	47.4	47.6	42.7	42.5	39.9
企業動向関連	56.6	40.0	38.6	40.0	47.1	51.4	50.0	46.5	49.3	52.1	49.3	45.9	41.2	47.3
雇用関連(参考)	62.5	51.3	46.1	40.8	51.3	55.3	57.9	46.1	55.3	50.0	57.9	51.3	46.1	46.1

（2）先行き判断D I

	3年		4年										5年	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北先行き	47.8	41.9	45.8	46.6	47.6	50.0	48.7	40.3	47.6	47.7	46.8	39.7	43.9	46.6
家計動向関連	45.7	40.9	45.1	46.4	47.0	49.1	48.3	38.3	44.3	46.3	45.7	37.9	41.8	45.2
企業動向関連	51.5	45.0	47.9	45.0	47.1	47.1	47.1	45.8	56.1	52.1	48.6	43.9	48.0	52.0
雇用関連(参考)	54.2	42.1	46.1	51.3	52.6	60.5	53.9	42.1	51.3	47.4	50.0	42.1	48.7	44.7

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和5年1月25日～31日

回答者数 170/189 名、回答率 89.9%（全国 1,850/2,050 名、90.2%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL : 022-222-3394 FAX : 022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（その他小売[ショッピングセンター]）…新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてきた。また、全国旅行支援等もあり、新幹線を含む旅客の移動がかなり増えてきている。それに伴い、来客数も徐々に増えつつある。

（通信会社）…これまで低迷していた放送サービスが、12月から1月のキャンペーン効果もあり徐々に加入者を増やしている。エンターテインメントサービスに掛ける費用の節約傾向にもブレーキが掛かり、新規の加入者が増えている。また、インターネットサービスは引き続き順調に契約者数を伸ばしており、放送と通信の同時加入者が増えている。低価格の放送サービスと中価格の通信サービスへのセット加入で節約している人が増えているのが特徴である。

（観光名所）…日本人の募集团体も人数が増えている。それに加えてインバウンドも増えている。今までは台湾が中心であったが、東南アジア系も増えている。予約時点で前年の実績数を上回る状況がここ1～2か月続いている。

（その他サービス[自動車整備業]）…年末年始の客足やセールでの売上は好調であった。例年だと1月後半から低調になるが、今年は月末になっても販売量が落ちておらず、景気が良くなってきた感じがある。

（その他住宅[住宅展示場運営会社]）…新型コロナウイルス感染症の規制緩和の影響があり、前月、前年のいずれと比較しても来場組数が増加している。

（建設業）…官庁、民間発注共に一定量の受注を獲得している。

（人材派遣会社）…小売業や飲食業、特にショッピングセンターの来客数が増えていることにより、そこに入っている店の売上が向上している。求人ニーズも増えてきている。

○「変わらない」

（商店街）…初詣などで外出する人が増え、人の流れは戻ってきたが、電気代や燃料費の高騰、商品値上げ等により、景気は横ばいになっている。

（百貨店）…11月、12月と来客数が減少し苦戦したものの、1月は回復基調になっている。3か月間でみると前年とほぼ同水準となっている。

（衣料品専門店）…来客数、客単価は前年比ほぼ100%であるが、買上点数が落ちている。物価高騰に合わせて、ついで買いがなくなっており、必要な物しか購入していない。

（家電量販店）…寒くなり暖房商品などの売上は伸びてきている。AV商品などは年末年始の販売量は増えたが単価は上がっていない。冷蔵庫や洗濯機といった白物家電の売上は、年末辺りから前年比90%と悪くなっている。

（乗用車販売店）…車両生産がまだ不安定であるため、新車登録、中古車登録共に前年比8割程度とかなり苦戦している。例年冬に多くなる板金修理が今年は大幅に少ないこともあり、収益状況も苦戦している。

（その他専門店[ガソリンスタンド]）…燃料油の販売量が前年比で大きく下回っている。新型コロナウイルスの感染対策の緩和により回復を期待していたが、販売量の増加にはつながっていない。

（観光型旅館）…全国旅行支援が再開したものの、盛り上がりとしては前年ほどではない。

（旅行代理店）…国内旅行は全国旅行支援が1月より延長されたことで個人、団体共に伸びることを期待していたものの、割引額が低くなったこともあり、3か月前と比較しても横ばいの状況である。海外旅行は問合せが増加しているものの、まだ様子見で成約に至らないケースが散見され、国内旅行同様に3か月前と比較しても横ばいの状況である。

(農林水産業) …果物農家の1年間の所得は、前年比で5~10%増加している。

(一般機械器具製造業) …3か月前と比べ仕事量は増えてきたが、実際の受注量や価格などは横ばいの状態が続いている。人手不足や電気料金、鋼材等の値上がりで厳しい状況である。

(公認会計士) …客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス業は新型コロナウイルス感染症の規制緩和により、少しずつ業績が回復している。一方、製造業関係で電子部品を利用する企業は調達が厳しく、売上が上がらない。建設関係はおおむね堅調に推移している。全体としてはやや良好な状況と判断している。

(新聞社[求人広告]) …客先の状況や見込みを聞く限り、新型コロナウイルス感染症の影響はほぼなくなっている。しかし、物価高騰がマイナスに働いているという声が多く、慎重な姿勢が顕著になってきている。

○「やや悪くなっている」

(一般小売店[医薬品]) …来客数は横ばいだが単価が落ちている。需要は以前と変わらないが、物価の上昇により節約志向になっているようである。

(スーパー) …今月に入り雪の影響が大分大きくなっており、来客数が減り、売上が落ちている。また、1品単価は上昇しているが買上点数は93.4%と大きく減少している。値上げの影響で全体的に消費が落ち込んでいる。

(タクシー運転手) …12月は忘年会を含めて動きが良かったが、1月は物価高により客の財布のひもが固くなっている。

(競艇場) …12月は来客数も売上も悪くはなかったが、1月に入り正月過ぎから急激に落ち込んでいる。

(美容室) …前月まで前年比88~89%であった再来店率が今月に入り85%程度まで落ち込んでいる。再来店までの期間が長くなっている。

(金属製品製造業) …主要取引先のカメラ業界は、世界的なインフレの影響で輸出が減っているため受注量も減っている。

(輸送業) …前年の9月から12月辺りからようやく上向きになってきていたが、物価高騰等の影響か1月に入ってから全体的に荷動きが余り良くない。インバウンド絡みの需要増加を期待したい。

(職業安定所) …建築資材高騰の影響を受け、建設業において小規模事業所からの求人数が少なくなっている。また、原材料、光熱費高騰の影響を受け、宿泊・飲食サービス業において飲食店からの求人数が少なくなっている。

○「悪くなっている」

(コンビニ) …商品の標準小売価格が上昇していくなかで来客数の減少が続いている。さらに、電気料金の値上げによる経費増加も非常に大きくなっており、店舗経営を更に悪くしている。

(一般レストラン) …今年の1月は初売りの期間が終わった後の落ち込みが著しい。ランチタイム、ディナータイム共に客がほぼ来ない状況が続いている。かつてないほど来客数が少なくなっている。

(土石製品製造業) …出荷は8年連続で前年比マイナスである。4月から12月の出荷も東北6県全てが前年比マイナスである。諸資材の価格や燃料費の高騰により製品価格を値上げしても追いつかない。官需、民需共に低調のなか非常に厳しい状況となっている。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(食料品製造業) …ツアー客やインバウンド等、旅行客が動き始めるため、活気付くとみている。

(その他非製造業[飲食品卸売業]) …新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、行動を妨げる要因が無くなるとみている。

○「やや良くなる」

(一般小売店[酒]) …天候も良くなるため、少しずつ消費者が動くのではないかとみている。新型コロナウイ

ルス感染症が5類感染症に移行するとなれば、状況が変わるのではないかと期待している。

(その他専門店[靴])…新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行することで、人々の動きが新型コロナウイルス感染症発生前に近づくとみている。

(一般レストラン)…マスク着用が緩和されることになるため、段々と人が外に出て飲食するようになり、今よりは良くなるとみている。

(その他住宅[住宅展示場運営会社])…住宅購入の後押しとなる要因はないが、新型コロナウイルス感染症の規制緩和の影響で、来場者数が増加するとみている。

(広告業協会)…新型コロナウイルスの新規感染者数の増減による浮き沈みの幅が小さくなり、販促計画が立てやすくなっている。物価高騰による買い控えが心配の種ではあるが、今春は広告業界として新型コロナウイルス感染症発生前の実績に戻すチャンスとみている。

(司法書士)…不動産業者の宅地分譲用仕入れ取引が増加している。

○「変わらない」

(コンビニ)…輸入原料の価格高騰で商品の値上げは続くが、新型コロナウイルス感染への緊張感が緩むことで外出の機会が増え、来客数が増加する。取りあえず売上のバランスが取れるのではないかとみている。

(職業安定所)…求人数が求職者数を上回っている状態が続いているものの、今後も電気代や原材料価格などの更なる高騰が予想され、企業の経営状況に影響が出るとみている。

○「やや悪くなる」

(百貨店)…物価高の影響により売上が少しずつ減少する傾向は、これといった消費喚起を促す動きがないだけに、しばらく続くものとみている。春闘終結をきっかけに、季節の変わり目における高額商品や贈答品が再び活発に動くことを期待している。

(スーパー)…2月には最大量の値上げが予定されており、販売量や売上が好転する可能性は低い。

(乗用車販売店)…現状直接売上に影響は出ていないが、法人客、個人客のいずれからも光熱費、特に電気代が高くなり、今後、経費の見直しが必要になるという声を多く聞く。

(高級レストラン)…物価高が続き、客の出控えもますます増えて、景気は今と変わらないか、より悪くなるとみている。しかし、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されれば良くなる兆しがみえてくるかもしれない。

(電気機械器具製造業)…半導体関係は新型コロナウイルス特需もあり盛り上がっていたが、最近では海外IT企業を中心に人員削減も進んでおり、市場がしぼむ可能性がある。IT企業以外でも半導体以外の調達リスクが長期化していることから、半導体需要が余り伸びない可能性が高く、結果として景気はやや悪くなる方向にあるとみている。

(人材派遣会社)…求人数の動きにやや下振れの傾向がある。景気後退の懸念から長期の採用計画に弱気になっている企業が多い。全体的には景気回復に弱さがみられる。

(新聞社[求人広告])…物価高騰に伴う慎重姿勢が個人にも企業にも広がっており、求人広告も通常の広告も縮小傾向にある。

○「悪くなる」

(衣料品専門店)…電気料金の値上げが予定されているため、状況は更に悪化するとみている。

(農林水産業)…電気料金の約3割の値上げや、肥料価格の2倍近い値上げなど、大幅なコスト増が予想される。

(金属製品製造業)…ウクライナ情勢に起因したエネルギーインフレにより、主要取引先であるカメラ業界の輸出が減っており、受注量が減っている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上